

四国中央市のさらなる飛躍に向けて

あったかな市政を目指し
“常に明るく、たくましく、ハートフルに”



平成29年度施政方針



市長
篠原 実

平成25年4月、井原前市長の後を引継ぎ、市長に就任し、早や4年が終わろうとしており、私の1期目の任期もあと少しとなりました。

この4年間を振り返りますと、入札不調により頓挫しておりました「市民文化ホール建設事業」や、南海トラフ巨大地震への備えとして耐震化が迫られておりました「庁舎の問題」など、大きな懸案事項を抱えてのスタートではございましたが、それでも、何とか一つひとつクリアし、現在に至っておりますことは、ひとつの成果を残せたものと思っております。

加えて、市民文化ホールと同時に始まりました、「子ども若者発達支援センター（愛称パレット）」建設事業につきましても、建設場所が変わりましたが、今年度から開所となりました。さまざまなご意見をいただき、保護者からの意見もいただきました。本当に感慨深いものがございます。

しかしながら、現在進行中の事業も含め、これからの本市を見通す中で、特に今年度に取り組みすべき案件を、いくつか申し上げます。

1. えひめ国体の推進
いよいよ9月30日に、「えひめ国体」が開催されます。昨年は、リハサル大会も行われ、着々と開催の準備を進めているところでありますが、私自身も、昨年の「若手国体」の視察に行き、県外からの選手や観客を受け入れる体制づくりが重要であると感じました。本市も、今年度は民泊の拠点となる公民館整備の予算を計上しており、国体の成功に向け、全力で取り組んで参ります。
2. 書道パフォーマンス甲子園10周年記念大会
さまざまな感動を生み出してきた書道パフォー

マンス甲子園大会が10回目の記念大会を迎えるにあたり、今まで以上に感動を呼び起こす大会となるよう取り組んで参ります。

3. 中核病院建設の推進

懸案事項の、「中核病院建設計画」につきましては、市だけでどうにかするということではございませんが、医療充実化を図るためには、避けて通ることが出来ない案件でございます。今後におきましても、早期実現に向け取り組んで参ります。

4. 新居浜特別支援学校の分校設置

本市にとって、どうしても必要な施設が、新居浜の特別支援学校の分校でございます。現在も設置に向け、県との協議を進めておりますが、一日も早い設置に向け、全力で取り組んで参ります。

5. 製紙業を中心とする産業の発展に向けて

製紙業を中心とする紙産業の発展は、「日本一の紙のまち」である本市の発展につながることから、「三島川之江港整備事業」、「国道11号バイパス延伸事業」、「津根工業団地造成事業」などの重要案件を、引き続き推進して参ります。

6. 市民の安全と安心を守るまちづくりの推進

申し上げるまでもなく、市民の安全と安心を守ることは、市の責務であることから、現在建設中の災害時の拠点となる「新庁舎」の建設や、「市民文化ホール」の一日も早い完成を目指すとともに、防災組織の強化に努めて参ります。

以上の6つの重要施策を中心として、今後市民の皆さまに、本市の将来像を、しっかりと提示出来るよう職員一丸となって進めて参りたいと考えておりますので、よろしくごお願い申し上げます。

6つの重要施策

えひめ国体の推進

第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」における本市開催競技である軟式野球、フェンシング、ラグビーフットボール、空手道、綱引、エアロビックに出場されるアスリートの皆さまを「おもてなしの心」で温かくお迎えし、円滑な大会運営を目指します。

書道パフォーマンス甲子園10周年記念大会

本市の一大イベントであります「書道パフォーマンス甲子園大会」が、10回目の記念大会を迎えます。これまでもさまざまな感動を生み出してきた本大会ですが、今年度以上に感動を呼び起こすような大会となるよう取り組みます。

中核病院建設の推進

市民が安心・安全に暮らせるよう、中核病院の早期建設に向け、四国中央病院の母体である公立学校共済組合とも協議を重ねています。四国中央病院との意思疎通をしっかりと図りながら、医療資源の確保に努め、市民の健康と命を守る中核病院建設に取り組んでいきます。



製紙業を中心とする産業の発展に向けて

製紙業を中心とする紙産業の発展は、本市の発展につながります。このことから、現在も重要案件として取り組んでいる「三島川之江港整備事業」など、本市の紙産業の発展に不可欠な事業にも鋭意取り組んでいきます。



防災力の強化

市職員で構成する消防隊「四国中央市消防団市役所消防隊」を結成します。消防団は、災害から地域を守るための中心的な存在ですが、更に市内在勤が主である市職員で消防隊をつくり、火災が発生したときなど、既存の分団と協力して迅速な初動対応ができるようになります。



新居浜特別支援学校の分校設置

「共生社会」の実現のためには多様な学びの場が地域の中で確保されることが重要です。障がいのある無に関わらず、誰もが「一緒にいて当たり前」という感覚を小さい頃から自然に身に付け、お互いに理解し合う環境をつくるのが「共生社会」の入り口になると考え、子どもたちの教育環境の整備のために、特別支援学校の設置に向けて取り組んでいきます。



2017 愛顔つなぐえひめ国体
平成29年9月30日(土)～10月10日(火)
四国中央市開催競技

正式競技

- 軟式野球 (伊予三島運動公園)
- フェンシング (伊予三島運動公園)
- ラグビーフットボール (伊予三島運動公園)
- 空手道 (伊予三島運動公園)
- エアロビック (伊予三島運動公園)
- 綱引 (伊予三島運動公園)

愛顔つなぐえひめ国体四国中央市実行委員会